

令和7年度南海トラフ地震についての県民意識調査

問1-1 性別（回答数は1つ）

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問1-2 年代（回答数は1つ）

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 | 5 50代 | 6 60代 | 7 70代 | 8 80代以上 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|

問1-3 住所（回答数は1つ）

- | | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|--------|
| 1 下田市 | 2 東伊豆町 | 3 河津町 | 4 南伊豆町 | 5 松崎町 | 6 西伊豆町 | 7 沼津市 |
| 8 熱海市 | 9 三島市 | 10 富士宮市 | 11 伊東市 | 12 富士市 | 13 御殿場市 | 14 裾野市 |
| 15 伊豆市 | 16 伊豆の国市 | 17 函南町 | 18 清水町 | 19 長泉町 | 20 小山町 | |
| 21 静岡市葵区 | 22 静岡市駿河区 | 23 静岡市清水区 | 24 島田市 | 25 焼津市 | 26 藤枝市 | |
| 27 牧之原市 | 28 吉田町 | 29 川根本町 | 30 浜松市中央区 | 31 浜松市浜名区 | | |
| 32 浜松市天竜区 | 33 磐田市 | 34 掛川市 | 35 袋井市 | 36 湖西市 | 37 御前崎市 | |
| 38 菊川市 | 39 森町 | | | | | |

問1-4 同居されている方のうち、次に該当する方がいますか。（複数回答可）

- | | | |
|-------------------|------------------|-------------------|
| 1 未就学児 | 2 小学生 | 3 中高生 |
| 4 日常生活に介助や支援が必要な方 | 5 緊急時の避難に支援が必要な方 | |
| 6 妊産婦 | 7 65歳以上の方 | 8 上記1～7に該当する方はいない |

1 南海トラフ地震について

問2 あなたは現在、南海トラフ地震にどの程度の関心を持っていますか。（回答数は1つ）

※「南海トラフ地震」が発生すると、静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7となる可能性があるほか、それに隣接する周辺の広い地域では震度6強から6弱の強い揺れになると想定されています。また、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されています。

- | |
|------------|
| 1 非常に関心がある |
| 2 多少関心がある |
| 3 あまり関心はない |
| 4 全く関心がない |

問3 あなたは、南海トラフ地震が起きた場合、どのようなことが心配ですか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1 津波 | 2 土砂崩れ、崖崩れ |
| 3 地割れ、陥没 | 4 建物（自宅を含む）の倒壊 |
| 5 火災の発生 | 6 液状化現象 |
| 7 道路寸断等による孤立集落の発生 | 8 自身の安全確保 |
| 9 タンス・冷蔵庫などの家具類の転倒 | 10 家族の安否確認 |
| 11 近くに避難場所がないこと | 12 避難所での生活 |
| 13 要配慮者（高齢者、障害のある人、子ども、妊産婦、外国人等）への配慮 | |
| 14 食料や飲料水の確保 | 15 日用品の不足 |
| 16 ガソリン・灯油などの燃料不足 | 17 電気、水道、ガスの供給停止 |
| 18 情報通信手段の途絶 | 19 情報の錯綜（デマ等） |
| 20 外出先からの帰宅 | 21 勤務先からの帰宅 |
| 22 外出先での避難場所 | 23 ガスなどの危険物の爆発 |
| 24 原子力発電所事故 | 25 災害関連死の発生 |
| 26 治安の悪化 | 27 被災後の生活再建 |
| 28 心配なことはない | 29 その他 |

「29 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問4 避難情報など緊急時の防災情報を主にどのような手段で入手していますか。(回答数は1つ)

- | |
|---|
| 1 インターネット |
| 2 市町の防災メール |
| 3 テレビ |
| 4 ラジオ |
| 5 各種防災アプリ |
| 6 SNS（フェイスブック、X（旧Twitter）、LINE、Instagramなど） |
| 7 市町の同報無線による放送（こちらは広報〇〇です で始まる放送） |
| 8 その他 |

「8 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問5 自宅の周辺を防災マップやハザードマップ（災害の危険度を示した地図）などで確認したことがありますか。
（回答数は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 確認したことがある | 2 確認したことがない |
|-------------|-------------|

問6 あなたの御自宅は津波浸水想定区域内ですか。それとも区域外ですか。（回答数は1つ）

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1 区域内 | 2 区域外 | 3 わからない |
|-------|-------|---------|

御不明な方は、市町の防災マップ、又は、以下のリンク先で津波浸水想定区域を確認することができます。

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?z=14&ll=34.809967%2C138.324478&t=roadmap&mp=11001&op=70&vlf=00080000000000000000>

2 南海トラフ地震が発生したときの行動について

問7 津波に対する行動について伺います。津波浸水想定区域にお住まいの方は自宅や自宅周辺で地震にあった場合を想定してください。それ以外の方は沿岸部を訪れていて地震にあった場合を想定してください。次のような大きな地震が起きた場合、あなたはどのように行動しますか。（回答数は1つ）

突然、震度6強以上の地震（立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れ、津波警報が発表される。）が起きた場合を想像してお答えください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 揺れを感じたら、直ちに近所の高台や津波避難ビル、津波避難タワー、命山などに避難する2 津波警報の発表を見聞きしてから、近所の高台や津波避難ビル、津波避難タワー、命山などに避難する3 周りの人が避難している姿を見たら、近所の高台や津波避難ビル、津波避難タワー、命山などに避難する4 海の水が引いたり沖合に高い波が見えたら、近所の高台や津波避難ビル、津波避難タワー、命山などに避難する5 津波に対して十分な耐浪性がある（と思われる）マンション等に住んでいるので、自宅にとどまる6 避難が困難なため、やむを得ず自宅の高い場所へとどまる7 どのように行動したらよいかわからない8 その他 |
|--|

「8 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

※（参考）津波到達時間についての解説はこちらです。ぜひ御覧ください。

東日本大震災では地震発生から30分ほどで各地に大きな津波が到達したとされています。静岡県ではそれよりも早い時間で大きな津波が襲来する可能性があります（平成25年6月に公表した静岡県第4次地震被害想定では、最短2分で津波が到達する場合もあります。津波到達時間は以下のリンク先で確認できます。地点をクリックすると到達時間が表示されます。）

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?z=14&ll=34.940692%2C138.413242&t=roadmap&mp=1802&op=70&vlf=-1>

避難を予定していた場所の破損、避難途中の道が塞がれ通ることができないなど、あらかじめ決めた行動ができないかもしれません。津波を想定した避難行動においては様々な状況を想定しておく必要があります。

問8 災害が発生したときの避難のため、市町はあらかじめ緊急避難場所を指定しています。また、緊急避難場所には災害種別ごとに指定があります。あなたは知っていますか。(回答数は1つ)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 知っている(目的や場所を概ね理解している) | 2 聞いたことはある(詳しくは知らない) |
| 3 知らない | |



災害種別が表示された看板例1



災害種別が表示された看板例2

※(参考) 指定緊急避難場所の災害種別についての解説はこちらです。ぜひ御覧ください。

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/hinanbasho.html> (国土地理院)

指定緊急避難場所の災害種別については、防災マップによる確認、避難場所周辺に掲げられた看板で確認するか、お住まいの市町の防災担当課へお問合せください。また、静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」でも確認ができます。

問9 市町は避難をしてきた人が一定期間滞在(生活)する施設をあらかじめ避難所として指定しています。あなたは知っていますか。(回答数は1つ)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 知っている(目的や場所を概ね理解している) | 2 聞いたことはある(詳しくは知らない) |
| 3 知らない | |

指定避難所については、防災マップによる確認、避難所周辺に掲げられた看板で確認するか、お住まいの市町の防災担当課へお問合せください。また、静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」でも確認ができます。

問10 災害発生後、避難先として考えている場所をお答えください。(回答数は1つ)

※避難先に被害があり避難できないことも考えられますが、災害時をイメージし、避難先として選択する可能性が最も高いものをお答えください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1 自宅(在宅避難) | 2 市町が指定した避難所 |
| 3 親戚、知人宅 | 4 自動車内 |

5 ホテル・旅館等

6 その他

「6 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問 10-2 問 10 の避難先を選択した理由は何ですか。(複数回答可)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 耐震性がある | 2 備えがある |
| 3 支援物資が入手しやすい | 4 情報を収集しやすい |
| 5 プライバシーが確保できる | 6 避難先で周りに迷惑をかけたくない |
| 7 安心して避難生活ができる | 8 周辺の危険が少ない |
| 9 その他 | |

「9 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問 11 避難所で一定期間避難生活を行う場合、避難所利用者が主体となって避難所運営を行うことを知っていますか。(回答数は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っている | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問 12 地震が起きた際に、離れている家族と安否を確認する手段として何を使うことを考えていますか。(複数回答可)

※南海トラフ地震発生時には通信機器の破損や回線の混雑により、家族等と連絡がとれなくなる場合があります。日頃から複数の手段で家族の安否が確認できるように家庭内で話し合い、訓練をしておきましょう。

- | |
|--------------------------------|
| 1 Eメール(携帯電話、スマートフォン) |
| 2 電話 |
| 3 LINE、Messenger、インターネットのアプリ |
| 4 災害用伝言ダイヤル「171」(音声による伝言板) |
| 5 メールサービス「災害伝言板」(携帯電話、スマートフォン) |
| 6 家族で決めた場所に集合 |
| 7 特に考えていない |
| 8 その他 |

「8 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

3 南海トラフ地震臨時情報が発せられたときの行動について

問 13 南海トラフ地震による被害防止・軽減のため、気象庁では令和元年5月31日から「南海トラフ地震臨時情報」の運用を開始しています。令和6年8月8日（木）には、初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。「南海トラフ地震臨時情報」について知っていますか。（回答数は1つ）

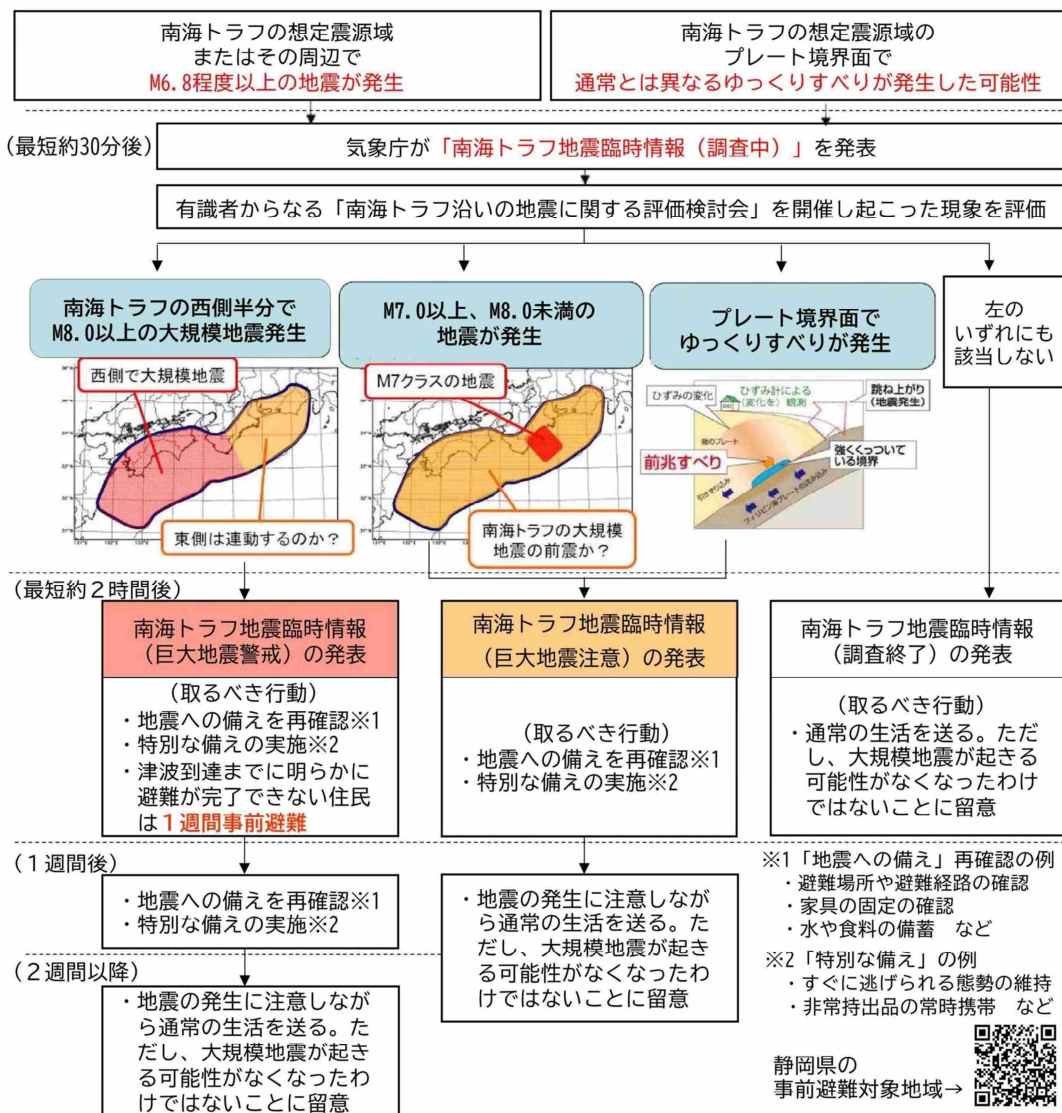
- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 知っている（内容を概ね理解している） | 2 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 3 聞いたことがない | |

※南海トラフ地震臨時情報は南海トラフ地震の発生する可能性が、通常よりも高まった場合に発表される情報で、情報の内容やお住まいの地域等によっては事前避難が必要となります。詳しくはこちらを御覧ください。
<https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/nankaitorafu/1035406.html>

「南海トラフ地震臨時情報」

南海トラフ沿いで大規模な地震が発生する可能性が高まった場合に発表される「南海トラフ地震臨時情報」。発表されるタイミングや、それに応じた防災対応を知り、大規模地震の発生に備えましょう。
 南海トラフ地震臨時情報が発表されなくても、大規模な地震が発生することがあります。

【南海トラフ地震臨時情報発表の流れ】 本情報が発表されずに突発地震の場合あり、空振りもあり



4 日ごろの防災対策について

問 14 南海トラフ巨大地震のような大規模災害時には、公的な支援物資がすぐに届かず、また、スーパー・コンビニなどの食料品や日用品がすぐ品切れになることも予想されます。このため、各家庭において水や食料を備蓄することが重要です。日常的に利用する保存・調理が容易な食品（缶詰、レトルト食品、インスタントラーメン、果物等）、食べ慣れたもの、食事を楽しむもので工夫することが備蓄のコツです。

日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の食料は概ね何日分ありますか。御家族ひとりあたり 1 日 3 食として計算してください。（回答数は 1 つ）

- | | |
|---|--------|
| 1 | なし |
| 2 | 1 日分 |
| 3 | 2 日分 |
| 4 | 3 日分 |
| 5 | 4 日分 |
| 6 | 5 日分 |
| 7 | 6 日分 |
| 8 | 7 日分以上 |
| 9 | わからない |

→ 問 14-2 問 14 で選択肢 1 から 7 を選択された方にお伺いします。

あなたのお宅で 7 日分以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。（複数回答可）

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 手間がかかる |
| 2 | 費用がかかる |
| 3 | 何を準備するとよいかわからない |
| 4 | 保管する場所がない |
| 5 | 行政や自主防災組織が用意してくれると思う |
| 6 | 南海トラフ地震が起こると思わない |
| 7 | 7 日分以上が必要とは思わない |
| 8 | その他 |

「8 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問 15 飲料水は、日常的に飲み慣れているもの（ミネラルウォーター、お茶、缶ジュース・ペットボトル飲料、ウォーターサーバーの水）や、食事を楽しむもので工夫することが備蓄のコツです。

日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の飲料水は何日分ありますか。御家族ひとりあたり 1 日 3 リットルとして計算してください。（回答数は 1 つ）

1	なし
2	1 日分
3	2 日分
4	3 日分
5	4 日分
6	5 日分
7	6 日分
8	7 日分以上
9	わからない

→ 問 15-2 問 15 で選択肢 1 から 7 を選択された方にお伺いします。

あなたのお宅で 7 日分以上の飲料水を備蓄していないのはどのような理由からですか。（複数回答可）

- | |
|------------------------|
| 1 手間がかかる |
| 2 費用がかかる |
| 3 何を準備するとよいかわからない |
| 4 保管する場所がない |
| 5 行政や自主防災組織が用意してくれると思う |
| 6 南海トラフ地震が起こると思わない |
| 7 7 日分以上が必要とは思わない |
| 8 その他 |

「8 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問 16 水や食料を備蓄する際、ローリングストックという備蓄方法がありますが知っていますか。（回答数は 1 つ）
※ローリングストックは日常的に水や食料を消費し、食べたら買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しいものを備蓄する方法です。

1 知っている	2 知らなかった
---------	----------

※（参考）災害時の備蓄についての解説はこちらです。ぜひ御覧ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/chosa/documents/zitakudenoseikatukeizokukeihatu.pdf>

問 19 地震による被害の有無は、家の耐震化だけではなく、家具の固定の状況に大きく影響されます。
 1995 年の阪神・淡路大震災では、死者 6,434 人の 10%、負傷者 43,792 人の 46%が家具の転倒によるものです
 (死者数、負傷者数は平成 17 年 12 月 22 現在のものです (消防庁調べ))。
 あなたのお宅では、地震に備えて家具類の固定をしていますか。(回答数は 1 つ)

- | |
|--|
| 1 大部分固定している
2 一部固定している
3 固定できない理由がある
4 固定が可能だが固定していない |
|--|

問 19-2 問 19 で選択肢 2 から 4 を選択された方に伺います。固定していない家具があるのはどのような理由からですか。(複数回答可)

- | |
|---|
| 1 家具類を置いていない安全な部屋があり、そこで過ごしている
2 家具類を置いていない部屋を寝室としている
3 備え付けの家具以外は家具を置いていない
4 備え付けの家具以外は背の低い家具としている
5 タンスなどには下に重い物を、上に軽い物を収納していて転倒の心配はないと思う
6 賃貸住宅に住んでいる
7 建物や家具を傷める
8 手間がかかる
9 費用がかかる
10 固定方法がわからない
11 固定方法がわかっても自分で固定できないと思う
12 やろうと思っているが先延ばしにしている
13 地震が起きても転倒・落下・移動しないと思う
14 固定をしても被害は出ると思う
15 転倒・落下・移動しても危険ではないと思う
16 部屋の見た目が悪くなる
17 南海トラフ地震が起こると思わない
18 その他 |
|---|

「18 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問 20 以下のA～Dの各部屋の家具・家電の設置状況や地震対策について、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）

A 普段過ごす部屋（リビング・居間や自室など、1日のうちで最も長く過ごす部屋）

①背の高いまたは重たい家具・家電（例：タンス、本棚、テレビ、デスクトップパソコン、食器棚、冷蔵庫、電子レンジなど）について

- 1 この空間には置いていない
- 2 壁や床と一体化している（造作家具）
- 3 壁にL字金具でネジ止めしている
- 4 ベルトやチェーンで壁に固定している
- 5 家具同士を上下に重ねて金具で連結している
- 6 天井との間につっぱり棒を付けている
- 7 下に粘着マットを敷いている
- 8 下にストッパーをはさんで壁側に傾けている
- 9 地震で転倒・落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 10 地震で転倒・落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 11 1～10のどの対策にも該当しない家具・家電がある
- 12 その他

「12 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

②高い位置の収納場所（例：吊戸棚、飾り棚、タンスの上など）について

- 1 この空間に高い位置の収納場所はない
- 2 何も置いていない
- 3 吊戸棚の戸には、耐震ラッチやドアロックを付けている
- 4 飾り棚は金具で壁に固定している
- 5 置いてある物を棚や壁に固定している
- 6 置いてある物が地震で落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 7 置いてある物が地震で落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 8 地震で落下して人に当たっても危なくないものだけが置いてある
- 9 1～8のどの対策にも該当しない収納場所がある
- 10 その他

「10 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

B 寝る部屋（→「A 普段過ごす部屋」と重複する場合は、回答不要ですので、「C 食事をする部屋」に進んでください）

①背の高いまたは重たい家具・家電（例：タンス、本棚、ドレッサー、テレビ、デスクトップパソコンなど）について

- 1 この空間には置いていない
- 2 壁や床と一体化している（造作家具）
- 3 壁にL字金具でネジ止めしている
- 4 ベルトやチェーンで壁に固定している
- 5 家具同士を上下に重ねて金具で連結している
- 6 天井との間につっぱり棒を付けている
- 7 下に粘着マットを敷いている
- 8 下にストッパーをはさんで壁側に傾けている
- 9 地震で転倒・落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 10 地震で転倒・落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 11 1～10 のどの対策にも該当しない家具・家電がある
- 12 その他

「12 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

②高い位置の収納場所（例：吊戸棚、飾り棚、タンスの上など）について

- 1 この空間に高い位置の収納場所はない
- 2 何も置いていない
- 3 吊戸棚の戸には、耐震ラッチやドアロックを付けている
- 4 飾り棚は金具で壁に固定している
- 5 置いてある物を棚や壁に固定している
- 6 置いてある物が地震で落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 7 置いてある物が地震で落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 8 地震で落下して人に当たっても危なくないものだけが置いてある
- 9 1～8 のどの対策にも該当しない収納場所がある
- 10 その他

「10 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

C 食事をする部屋（→「A 普段過ごす部屋」「B 寝る部屋」と重複する場合は、回答不要ですので、「D キッチン」に進んでください）

①背の高いまたは重たい家具・家電（例：食器棚、テレビ、冷蔵庫、電子レンジなど）について

- 1 この空間には置いていない
- 2 壁や床と一体化している（造作家具）
- 3 壁にL字金具でネジ止めしている
- 4 ベルトやチェーンで壁に固定している
- 5 家具同士を上下に重ねて金具で連結している
- 6 天井との間につっぱり棒を付けている
- 7 下に粘着マットを敷いている
- 8 下にストッパーをはさんで壁側に傾けている
- 9 地震で転倒・落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 10 地震で転倒・落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 11 1～10のどの対策にも該当しない家具・家電がある
- 12 その他

「12 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

②高い位置の収納場所（例：吊戸棚、飾り棚、タンスの上など）について

- 1 この空間に高い位置の収納場所はない
- 2 何も置いていない
- 3 吊戸棚の戸には、耐震ラッチやドアロックを付けている
- 4 飾り棚は金具で壁に固定している
- 5 置いてある物を棚や壁に固定している
- 6 置いてある物が地震で落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 7 置いてある物が地震で落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 8 地震で落下して人に当たっても危なくないものだけが置いてある
- 9 1～8のどの対策にも該当しない収納場所がある
- 10 その他

「10 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

D キッチン（→「A 普段過ごす部屋」「B 寝る部屋」「C 食事をする部屋」と重複する場合は、回答不要ですので、問21に進んでください）

①背の高いまたは重たい家具・家電（例：食器棚、冷蔵庫、電子レンジなど）について

- 1 この空間には置いていない
- 2 壁や床と一体化している（造作家具）
- 3 壁にL字金具でネジ止めしている
- 4 ベルトやチェーンで壁に固定している
- 5 家具同士を上下に重ねて金具で連結している
- 6 天井との間につっぱり棒を付けている
- 7 下に粘着マットを敷いている
- 8 下にストッパーをはさんで壁側に傾けている
- 9 地震で転倒・落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 10 地震で転倒・落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 11 1～10のどの対策にも該当しない家具・家電がある
- 12 その他

「12 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

②高い位置の収納場所（例：吊戸棚、飾り棚、タンスの上など）について

- 1 この空間に高い位置の収納場所はない
- 2 何も置いていない
- 3 吊戸棚の戸には、耐震ラッチやドアロックを付けている
- 4 飾り棚は金具で壁に固定している
- 5 置いてある物を棚や壁に固定している
- 6 置いてある物が地震で落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 7 置いてある物が地震で落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 8 地震で落下して人に当たっても危なくないものだけが置いてある
- 9 1～8のどの対策にも該当しない収納場所がある
- 10 その他

「10 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問 21 以下のA～Gの各家具・家電について、行っている地震対策としてあてはまるものをすべてお選びください。
(複数回答可)

A タンス

- 1 家に置いていない
- 2 壁や床と一体化している（造作家具）
- 3 壁にL字金具でネジ止めしている
- 4 ベルトやチェーンで壁に固定している
- 5 タンス同士を上下に重ねて金具で固定している
- 6 天井との間につっぱり棒を付けている
- 7 下に粘着マットを敷いている
- 8 下にストッパーをはさんで壁側に傾けている
- 9 重いものは下の方の段に収納している
- 10 戸や引き出しには、耐震ラッチやドアロックを付けている
- 11 地震で転倒・落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 12 地震で転倒・落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 13 1～12 のどの対策にも当てはまらない
- 14 その他

「14 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

B 本棚

- 1 家に置いていない
- 2 壁や床と一体化している（造作家具）
- 3 壁にL字金具でネジ止めしている
- 4 ベルトやチェーンで壁に固定している
- 5 本棚同士の上下を金具で連結している
- 6 天井との間につっぱり棒を付けている
- 7 下に粘着マットを敷いている
- 8 下にストッパーをはさんで壁側に傾斜をかけている
- 9 重い本は下の方の段に収納している
- 10 ベルトや柵を使って本の飛び出しを防止している
- 11 地震で転倒・落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない
- 12 地震で転倒・落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない
- 13 1～12 のどの対策にも当てはまらない
- 14 その他

「14 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

C 食器棚

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">1 家に置いていない2 壁や床と一体化している（造作家具）3 壁にL字金具でネジ止めしている4 ベルトやチェーンで壁に固定している5 家具同士の上下を金具で連結している6 天井との間につっぱり棒を付けている7 下に粘着マットを敷いている8 下にストッパーをはさんで壁側に傾斜をかけている9 重い食器類は下の方の段に収納している10 戸や引き出しには、耐震ラッチやドアロックを付けている11 地震で転倒・落下しても、普段過ごすスペースには当たってこない12 地震で転倒・落下しても、部屋から出る道やドアは塞がない13 1～12 のどの対策にも当てはまらない14 その他 |
|--|

「14 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問 22 近年の大規模地震においては、電気に起因する火災が多く発生しており、地震時の電気火災リスクを低減するため、本県では感震ブレーカーの普及を推進しています。あなたのお宅に感震ブレーカーを設置していますか。(回答数は1つ)

- 1

設置している
- 2

設置していない（見聞きしたことはあった）
- 3

設置していない（見聞きしたことも無かった）

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

感震ブレーカーの例

※感震ブレーカーを設置する際には、市町から補助金を受けられる場合があります。詳しくはお住まいの市町のWEBサイト等で確認ください。

問 23 大規模な地震や大雨の際に、迅速に、正しい避難ができるよう、事前に「いつ」「どこ」に避難するのかを一人ひとりが決めておく「わたしの避難計画」の作成を呼びかけています。あなたは、「わたしの避難計画」を作成しましたか。(回答数は1つ)

- 1 作成した
- 2 作成していない(見聞きしたことはあった)
- 3 作成していない(見聞きしたことも無かった)

Pickup

「わたしの避難計画」をつくろう



詳しくは⇒

今後起こりうる災害に備えて、「いつ」「どこ」に避難するか事前に決めておくことはとても重要です。

「わたしの避難計画」は、パソコンやスマートフォンを利用し、質問に答えていくだけで簡単に作成できます。

ハザードマップで
自宅のリスクを
確認できる

避難のタイミングが
わかる

災害時の避難先が
わかる



→ 問 23-2 問 23 で選択肢 1 を選択された方にお伺いします。作成したきっかけは何ですか。(回答数は1つ)

- 1 「わたしの避難計画」(紙) が家に届いたから
- 2 地域防災訓練で作成したから
- 3 県や市町の作成講座に参加したから
- 4 イベントで見聞きして、作成意欲が湧いたから
- 5 ポスター、チラシ等の呼びかけを見たから
- 6 SNSで見たから
- 7 今回のアンケートで興味を持ったから
- 8 その他

「8 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

→ 問 23-3 問 23 で選択肢 2 を選択されたにお伺いします。作成していない理由を教えてください。(回答数は 1 つ)

- 1 作成しなくても「いつ」「どこに」避難するかは分かっているため
- 2 ハザードマップを見て、自宅周辺に災害リスクが無いと分かっているから
- 3 作成するのが面倒だから
- 4 いつか作成するつもりだが、後回しにしているから
- 5 作り方が分からないから
- 6 その他

「6 その他」を選択した方にお伺いします。作成していない理由を教えてください。

問 24 次にあげるものの中で、南海トラフ地震に備えて自宅や日常生活で実施している防災対策はありますか。(複数回答可)

- 1 家具を何も置いていない部屋を寝室にしている
- 2 ガスを使わない時には元栓を締めるようにしている
- 3 火気器具のまわりに燃えやすい物を置かないようにしている
- 4 風呂に水をためるようにしている(残り湯の活用を含む)
- 5 消火器や水を入れたバケツなどを用意するようにしている
- 6 ガラス飛散防止対策をしている
- 7 防災用品(非常持出品を含む)を準備している
- 8 棚の上に重い物を置かないようにしている
- 9 割れたガラスから足を保護するためにスリッパ、靴などを用意している
- 10 防災について家族内で話しあっている
- 11 家の中で「とっさ」に逃げる場所を決めている
- 12 家族と非常時の連絡方法を決めている
- 13 地震の時に避難する場所を決めている
- 14 家族が離ればなれになった時に落ち合う場所を決めている
- 15 自宅や勤め先付近の安全な避難路を確認している
- 16 幼稚園、小学校の児童の引き取り方法を決めている
- 17 外出時には、携帯電話等の予備電池を携帯している
- 18 防災アプリをダウンロードしている
- 19 「わたしの避難計画」を作成している
- 20 その他

「20 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

問 25 あなたのお宅では非常持出品として何を用意していますか。(複数回答可)

- | | | |
|----------------------|-------------|---------------|
| 1 携帯ラジオ | 2 懐中電灯 | 3 予備の乾電池 |
| 4 ヘルメット・防災頭巾 | 5 非常食 | 6 飲料水 |
| 7 ティッシュペーパー・トイレトペーパー | | 8 スプーン・はし・カップ |
| 9 下着・くつ下・着替え | 10 救急薬品・常備薬 | 11 普段飲んでいる薬 |
| 12 お薬手帳 | 13 タオル | 14 軍手・手ぶくろ |
| 15 現金 | 16 雨具 | 17 毛布又は寝袋 |
| 18 ビニール袋 | 19 筆記用具・ノート | 20 ライター・マッチ |
| 21 ナイフ・缶切り | 22 生理用品 | 23 おむつ |
| 24 幼児・子供の日用品 | 25 くつ・スリッパ | 26 充電電池 |
| 27 携帯電話のバッテリー充電器 | 28 用意していない | 29 その他 |

「29 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

5 自主防災組織について

問 26 あなたは、地域の自主防災会の活動に参加していますか。(回答数は1つ)

1 参加している	2 参加していない
3 地域において自主防災会としての活動がない	

→ 問 26-2 問 26 で選択肢 1 を選択された方に伺います。あなたは、どのような形で活動に参加していますか。(回答数は1つ)

- | |
|---|
| 1 会長や副会長、防災委員など、自主防災組織の役員として参加している |
| 2 役員以外の自主防災組織内で定まった役割（消火班、避難誘導班など）で参加している |
| 3 自主防災組織内で定まった役割はないが、防災訓練など何らかの活動に参加している |

→ 問 26-3 問 26 で選択肢 1 を選択された方に伺います。あなたは、地域の自主防災会の活動状況をどう思いますか。(回答数は1つ)

- | |
|-------------|
| 1 活発である |
| 2 まあまあ活発である |
| 3 あまり活発でない |
| 4 活発ではない |
| 5 わからない |

問 27 自主防災活動を活性化するには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

- | |
|---------------------|
| 1 女性の参加 |
| 2 訓練内容の工夫 |
| 3 訓練の機会の増加 |
| 4 中高生等若い世代の参加 |
| 5 防災の知識・技能を持った人材の活用 |
| 6 わからない |
| 7 その他 |

「7 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

問 28 災害発生時にあなたが不安に思うことや、県や市町が行う防災対策、地域防災について、要望や関心がありますか。A～Eについて、次の中からあてはまるものをいくつでもお答えください。（複数回答可）

A 防災対策

県や市町等にどんな防災対策を実施して欲しいか、あなたの関心の高いものを複数選んでください。

- 1 防潮堤、防波堤、水門等の整備
- 2 津波からの避難場所の整備
- 3 避難路の整備
- 4 津波避難看板、海拔表示の設置
- 5 山・がけ崩れ防止施設の整備
- 6 孤立予想集落のためのヘリポートの整備
- 7 地区の防災資機材の備蓄の強化
- 8 地区の水・食料等の備蓄の強化
- 9 その他

「9 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

B 地域防災力の向上

地域の防災力の向上のため、県や市町等にどういったことを強化して欲しいか、あなたの関心の高いものを複数選んでください。

- 1 防災教育・防災訓練の推進
- 2 地域の防災人材（地域防災指導員、ふじのくに防災士等）の育成の推進
- 3 自主防災組織の運営に関する助言、指導
- 4 防災情報の発信体制の強化
- 5 要配慮者（高齢者、障害のある人、子ども、妊産婦、外国人等）の支援対策の強化
- 6 多様な組織、世代、地域間の協力・連携の推進
- 7 その他

「7 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

C 県や市町の平時の防災情報の発信内容の充実、広報の強化

県や市町等に防災に関するどんな情報を発信して欲しいか、あなたの関心の高いものを複数選んでください。

- 1 防災の基礎知識（地震発生メカニズム、災害発生時の安全確保の方法等）

- 2 県内の自主防災組織や地域防災の活動事例紹介
- 3 地域で開催される防災訓練や講習会、防災イベント等の紹介
- 4 南海トラフ地震臨時情報に関する情報
(例：日頃からの地震への備え 特別な備え 等)
- 5 防災訓練、避難所運営のノウハウに関する情報
(例：防災まち歩き 黄色いハンカチ作戦 HUG イメージTEN 等)
- 6 個人の避難計画に関する情報
(例：わたしの避難計画 マイ・タイムライン 個別避難計画 等)
- 7 家庭内備蓄に関する情報
(例：フェーズフリー ローリングストック 携帯トイレ 等)
- 8 住宅の耐震化、家具の固定方法に関する情報
(例：TOUKA I-O 防災ベット 防災シェルター L字金具 等)
- 9 防災教育に関する情報
- 10 企業防災に関する情報
(例：BCP 帰宅支援マップ 等)
- 11 被災した場合に活用できる各種支援制度に関する情報
- 12 最新の防災技術や取組の紹介
- 13 その他

「13 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

D 県や市町の平時の防災情報の発信手段

県や市町等に防災に関する情報をどんな手段で発信して欲しいか、あなたの関心の高いものを複数選んでください。

- 1 県、市町のホームページ
- 2 県、市町の広報誌や防災だより等の紙媒体
- 3 県、市町の防災行政無線
- 4 県、市町の防災メール
- 5 県、市町の防災ポータルや防災アプリ
- 6 県、市町の公式LINE アカウント
- 7 県、市町のX、フェイスブック
- 8 県、市町のYou Tube
- 9 県、市町のInstagram
- 10 テレビ・ラジオ放送
- 11 民間事業者の防災アプリ等の各種防災ツール
- 12 その他

「12 その他」を選んだ方に伺います。具体的に御記入ください。

--

※（参考）最後に、防災情報を入手できるスマートフォンのアプリを紹介しますので、是非ダウンロードをお願いします。

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>

静岡県総合防災アプリ

静岡県防災



緊急時に 命を守る

静岡県では令和元年6月1日から、スマートフォン向け総合防災アプリ「静岡県防災」の運用を開始しました。各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、災害時に幅広く役立つ機能を備えています。

役立つ
アプリ

詳細は裏面へ



静岡県総合防災アプリ
静岡県防災

もしものために今！
インストールから始めよう！



QRコードを
読み込んで
アクセス

Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

